

多数アンカー式補強土壁工法 Technical Profile

多数アンカー式補強土壁協会

- 昭和 58 年 12 月 建設省山口工事事務所で**多数アンカー施工実績第 1 号**
(最高壁高 =5.4m 面積 =225 m²)
- 平成 元年 多数アンカー擁壁協会設立
- 平成 4 年 「**多数アンカー式擁壁工法 設計・施工ガイドライン**」発行 多数アンカー擁壁協会
「建設省土木工事積算基準 平成 4 年度版」に標準歩掛が掲載 土木工事積算研究会
建設省との「補強土擁壁の合理的な設計方法に関する共同研究」※平成 6 年までの 3 カ年
- 平成 6 年 10 月 「**多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル (以下、マニュアル)**」発行 (財)土木研究センター
- 平成 7 年 多数アンカー式補強土壁協会に名称変更
- 平成 9 年 日本道路公団との「薄型壁面材に関する共同研究」
- 平成 10 年 6 月 NETIS 申請情報に登録 KT-980087
- 平成 10 年 11 月 「**マニュアル第 2 版**」発行 (財)土木研究センター
薄型壁面材の導入
「多数アンカー式補強土壁工法に関する研究ノート」発行 (財)土木研究センター
- 平成 12 年 1 月 建設省等との共同研究報告書
「大型振動台実験による多数アンカー式補強土壁に作用する地震時土圧に関する研究」
- 平成 14 年 10 月 「**マニュアル第 3 版**」発行 (財)土木研究センター
地震時検討手法の改訂、補強せん断強度増分の導入など
- 平成 17 年 「アンカー式補強土壁工法研究委員会 - 性能規定化に関する検討 - 報告書」発行 (財)土木研究センター
「補強土工法の被災度評価および災害復旧に向けての基本方針に関する報告書」発行 (財)土木研究センター
- 平成 18 年 7 月 NETIS 評価情報に移行 KT-980087-V
「**マニュアル第 3 版追記 (鋼材)**」発行 (財)土木研究センター
SN 鋼材を補強材に導入
- 平成 20 年 3 月 神奈川県足柄上地域県政総合センターで
斜壁多数アンカー施工実績第 1 号 (最高壁高 =8.8m 面積 =129.5 m²)
- 平成 20 年 7 月 「**マニュアル第 3 版追記 (コンクリート製壁面材規格)**」発行 (財)土木研究センター
e 壁面材 (コンクリート設計基準強度 $f_{ck}=40N/mm^2$) の導入
- 平成 24 年 4 月 「**マニュアル第 3 版追記 (コンクリート製壁面材規格および補強材規格)**」
発行 (財)土木研究センター
多数アンカー a シリーズの導入
- 平成 24 年 10 月 「**マニュアル第 4 版**」の改訂作業中

